

前号の広報ふじ10月20日号「特集〇考えよう ごみ減量化」では、市のごみ処理状況についてお知らせしました。今号でも引き続きこのテーマで、ことし実施された世論調査の結果や減量化への取り組みなどについて紹介します。



データ

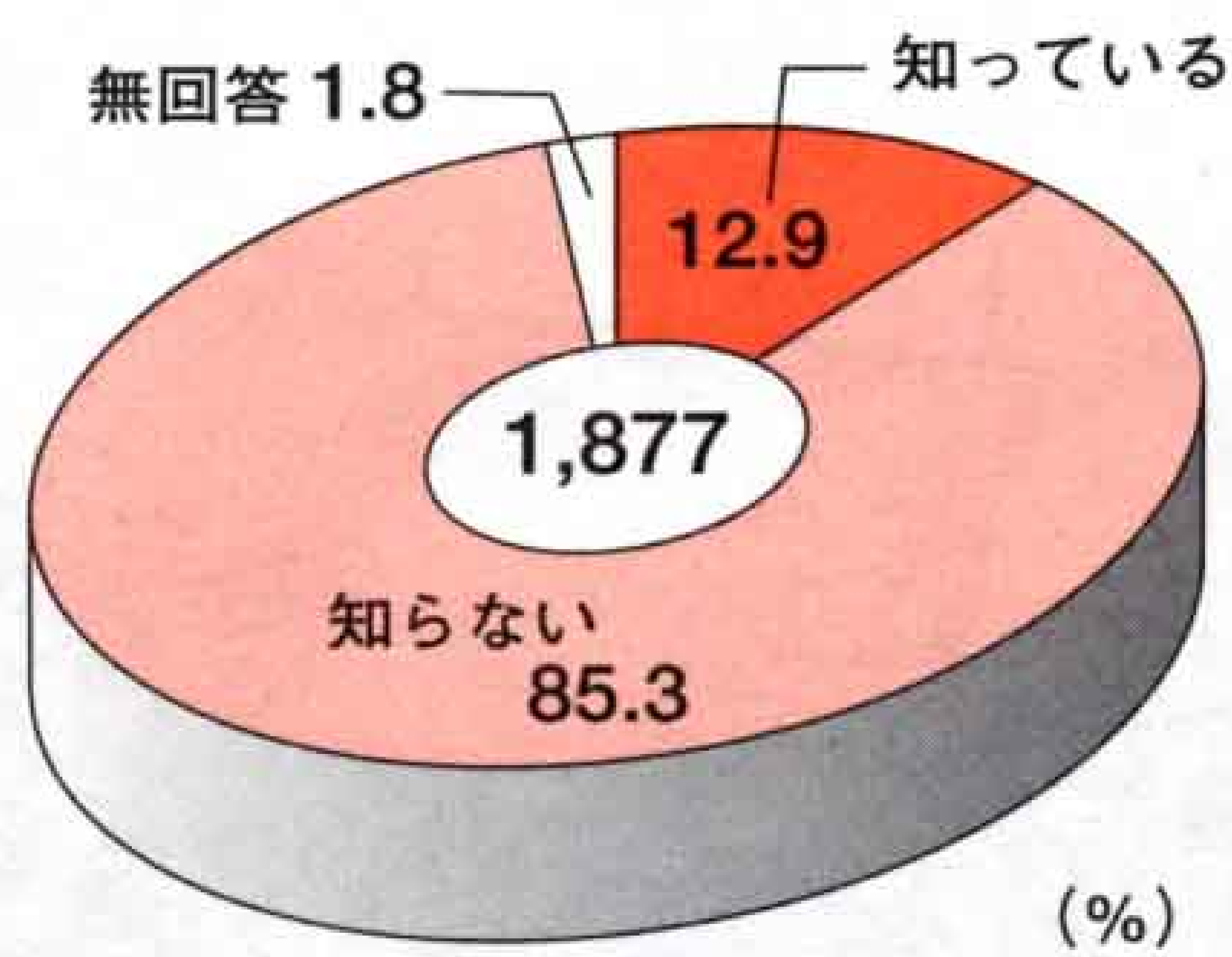
対象 市内在住の満20歳以上の男女 3,000人
 抽出方法 住民基本台帳から等間隔無作為抽出
 調査期間 平成12年6月15日～30日
 調査方法 郵送調査
 回収数(率) 1,877人 (62.6%)
 ※比率は百分率で表示し、小数点以下第2位を四捨五入していますので、合計が100%にならない場合があります。

平成12年度世論調査

「これからの富士市のごみ対策 —ごみの減量化と リサイクルの推進について」

市民1人当たりの1日のごみ排出量について

Q 市では市民1人当たり1日に約1.1キログラムのごみを出していますが、あなたはそのことを知っていますか。



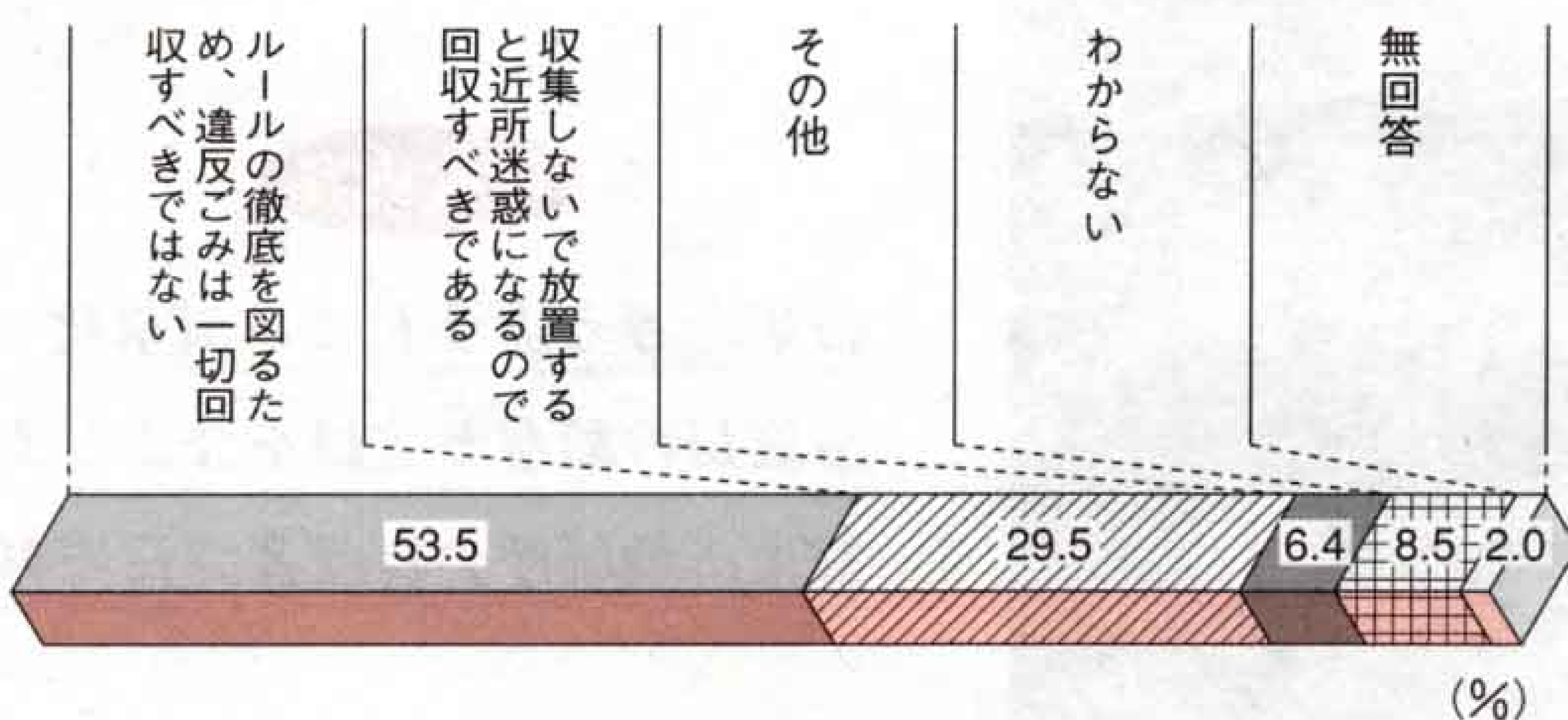
八割以上の人が「知らない」と回答
 「知っている」は一二・九%にとどまり、「知らない」が八五・三%と八割を超えています。
 年齢別に見ると、「知らない」との回答は、若年層に多くなっていて、四十代以下では九割を超えています。

世論調査

市では、市民の皆さんの意見や要望を市政運営の基礎資料とするため、毎年世論調査を実施しています。
 二十九回目となる今年度は、ごみ問題について皆さんの意見や要望を伺いました。

指定袋以外の袋で出された缶・ごみの取り扱いについて

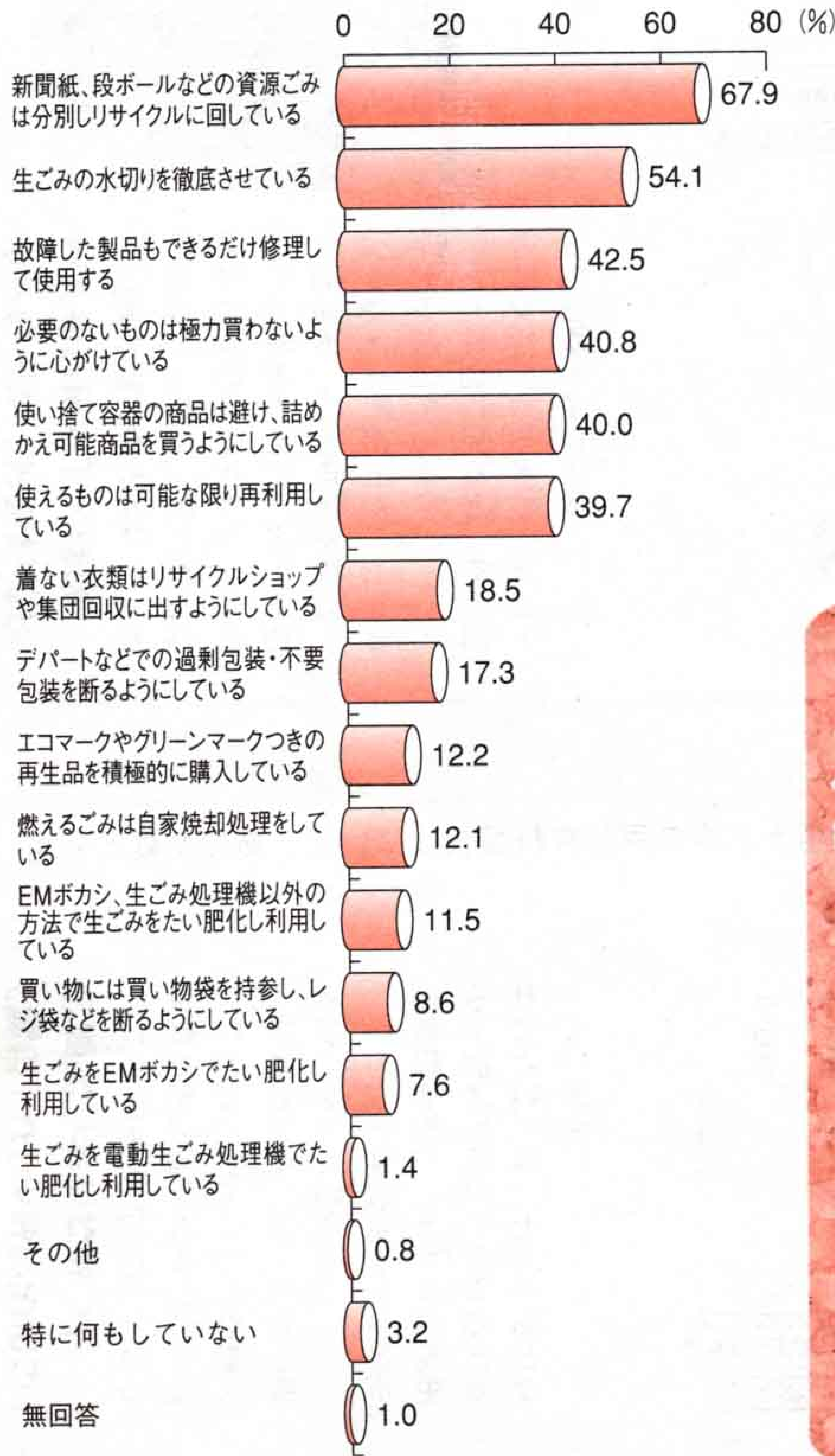
Q 決められた袋以外で出された缶・ごみの取り扱いについて、あなたはどのように考えますか。



ルール違反には厳しい声がある
 「指定袋以外で出すことはルール違反で、ルールの徹底を図るため違反ごみは一切回収すべきではない」が五三・五%、「収集しないで放置すると近所迷惑になるので、ルール違反でも回収すべきである」が二九・五%となっており、回収すべきではないという意見が半数を超えています。

ごみの量を減らすためにしている工夫について

Q あなたのお宅では、ごみの量を減らすためにどのような工夫をしていますか。(複数回答)



家族構成で

ごみ減量化の違いが

ごみを減らすための工夫は、「新聞紙、段ボールなどの資源ごみは、分別しリサイクルに回している」が六七・九%で最も多くなっています。

家族構成別に見ると、ひとり暮らしでは、「必要のないものは極力買わないように心がけている」が最も多く、夫婦だけの世帯では「生ごみの水切りを徹底させている」、二世帯・三世帯世帯では「使い捨て容器の商品は避け、詰めかえ可能商品を買うようにしている」がほかの世帯構成よりも多い回答になっています。

＜調査結果の比較＞

平成8年の調査結果と比較すると、リサイクルに回すという回答が引き続き多くなっており、生ごみの水切りの徹底や詰めかえ可能商品の購入などの新しい選択肢への回答も多くなっています。

		平成8年	平成12年
上位5項目 (%)	1位	紙類はちり紙交換・古紙回収などに出している 79.4	新聞紙、段ボールなどの資源ごみは分別し、リサイクルに回している 67.9
	2位	必要のないものは買わないように心がける 30.7	生ごみの水切りを徹底させている 54.1
	3位	使えるものは可能な限り再利用をしている 27.3	故障した製品もできるだけ修理して、使用する 42.5
	4位	牛乳パックや発泡スチロールのトレイはスーパーの回収箱に入れる 25.3	必要のないものは極力買わないように心がけている 40.8
	5位	燃えるごみは自家焼却処理をしている 24.2	使い捨て容器入り商品は避け、詰めかえ可能商品を買うようにしている 40.0

※平成8年は選択肢が9、平成12年は選択肢が16。

自由意見

この調査では、各設問の回答のほか、テーマに関する自由意見や要望などを書いていただきました。その中から幾つか要約してお知らせします。

【ごみの収集方法】

- ・牛乳パックやペットボトルなどをごみ集積場所でも回収してほしい。
- ・燃えるごみと燃えないごみの集積場所を一緒にしてほしい。
- ・缶はアルミと一緒にしない、瓶は色分けをするなど、細かく分別して収集する。
- ・缶の指定袋はいらぬ。瓶と同様にコンテナを用いたらどうか。

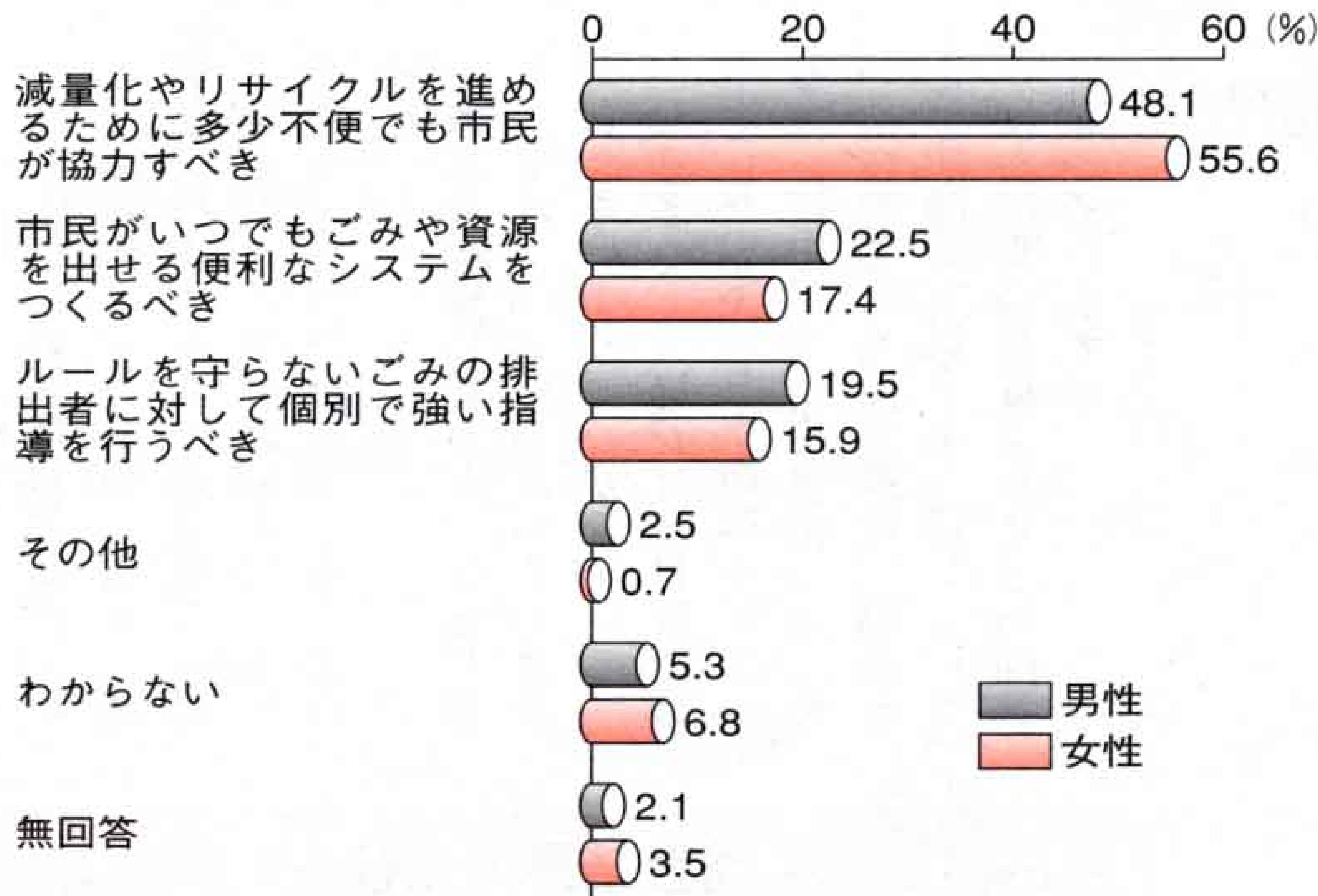
【ごみを減らす方法】

- ・スーパーやデパートなどで過剰こん包はしないように。
- ・生ごみ処理機の購入補助制度を導入してほしい。
- ・ごみ問題について市民への啓発や意識の向上、土壌づくりを図るべき。
- ・ごみ処理が有料化となれば、出す量も減るのでは。
- ・ペットボトルなど企業側が売る以上、製品がごみとして出されたとき責任を持つべき。
- ・子供のころからごみの減量化やリサイクルについての教育をする。
- ・夏場は個人で生ごみの肥料化をするのは大変なので、生ごみを肥料化する施設があるといい。



ごみの減量化やリサイクルの推進に対する市の考え方

Q 今後、市ではどのような考え方で「ごみの減量化やリサイクルの推進」をすべきだと思いますか。



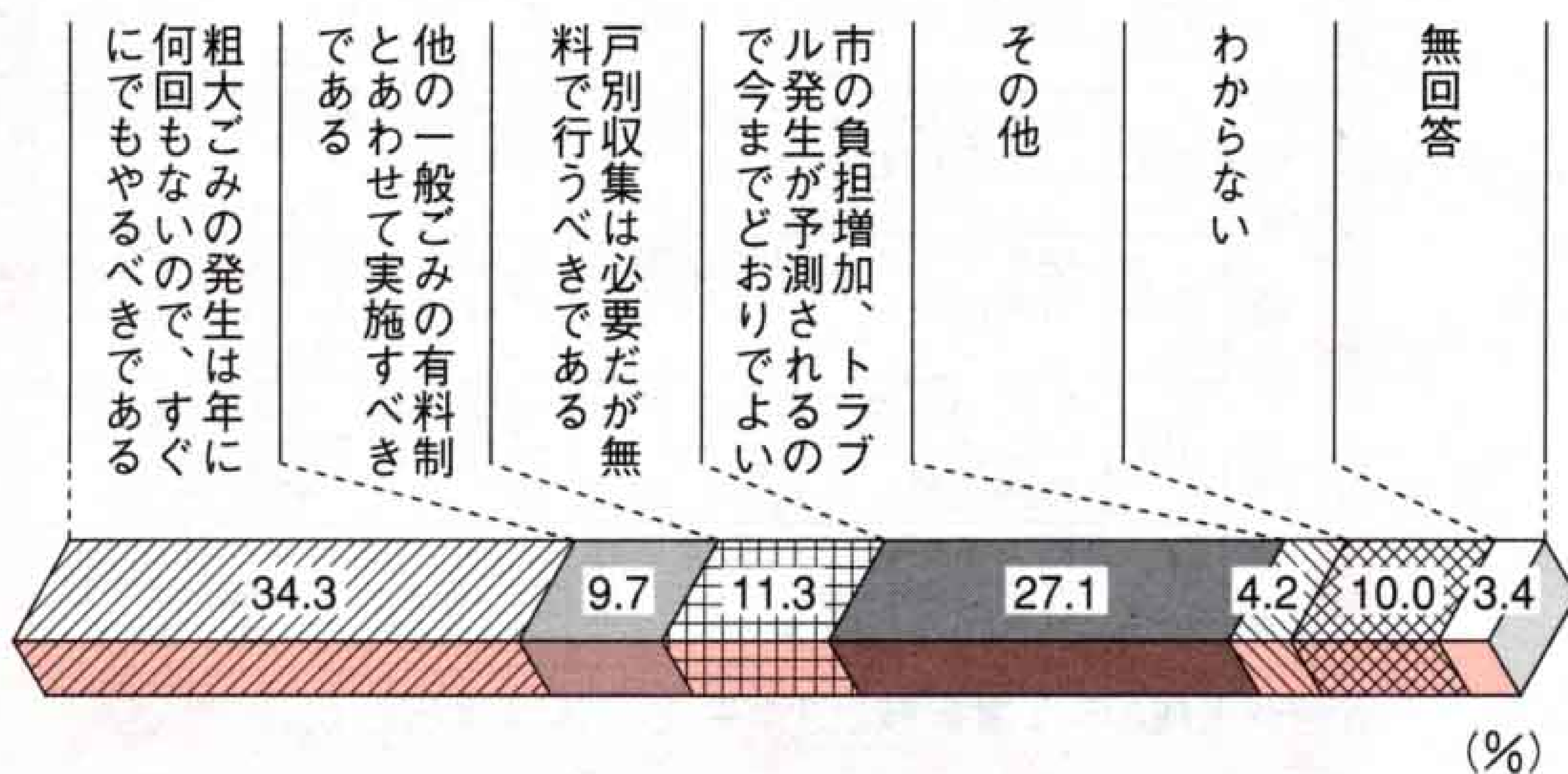
多くの人が「市民が協力すべきである」と回答

ごみの減量化やリサイクルの推進について、「限られた経費でごみの減量化やリサイクルを進めるために、多少不便な面があっても市民が協力すべきである」が五一・七%と半数を超えています。

また性別に見ると、その回答は女性にやや多く、五五・六%となっています。

粗大ごみの戸別有料回収について

Q 使えなくなった大型電化製品や大型家具類などの粗大ごみの戸別有料回収について、あなたはどのように考えますか。



「賛成」と「今ままでどおり」の意見が分かれました

「粗大ごみの発生は、一つの世帯で年何回もあるものではないので、すぐにでもやるべきである」が三四・三%と最も多くなっています。

一方、「戸別回収を行うと市の負担増加、トラブルの発生も予測されるので今ままでどおりでよい」は二七・一%となっています。

自由意見

【スーパーにおけるトレイ・袋】

- ・トレイは必要ないと思う。また、レジ袋も出し過ぎたと思う。
- ・スーパーでは必ずペットボトルやトレイなどの回収箱を置くべき。
- ・買い物に行くとき、各自で容器などを持参していくのはどうか。

【ごみ出しのマナー】

- ・収集日を守るとかポイ捨てをしないなど一人一人のモラルの向上が必要。
- ・小学校低学年から具体的な教育を徹底する。
- ・収集日以外に、他町内の人のごみ搬入がある。
- ・集積場所に監視員を配備する。

【リサイクル】

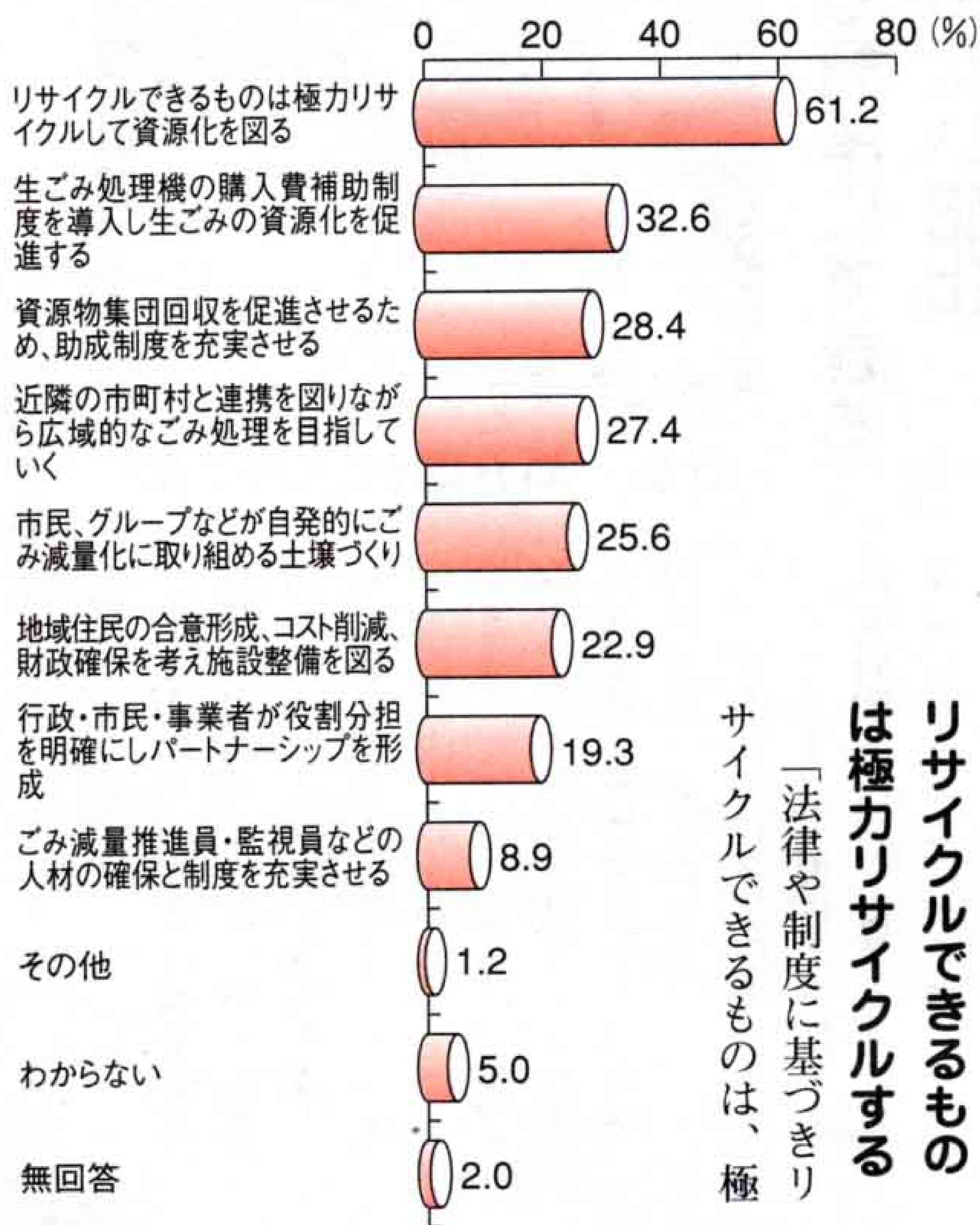
- ・ペットボトルや発泡スチロール、トレイなども曜日を決め分別回収する。
- ・リサイクルできる機会を市の主催で開催してほしい。
- ・リサイクル施設の充実が必要。
- ・再生されたものを公共の場で使用したり、購入できたりする方法があればよいのでは。

【ペットボトル】

- ・市でペットボトルを回収してほしい。
- ・回収場所がわからない。
- ・班や組単位で気軽に回収できるところがあればいいのでは。
- ・瓶と同じようにお店に持っていくとお金がもらえるようにしたらどうか。

「富士市ごみ処理基本計画」について

Q 「富士市ごみ処理基本計画」の中で、今後市が重点的に進める施策として、あなたはどのようなことが重要だと思いますか。(複数回答)

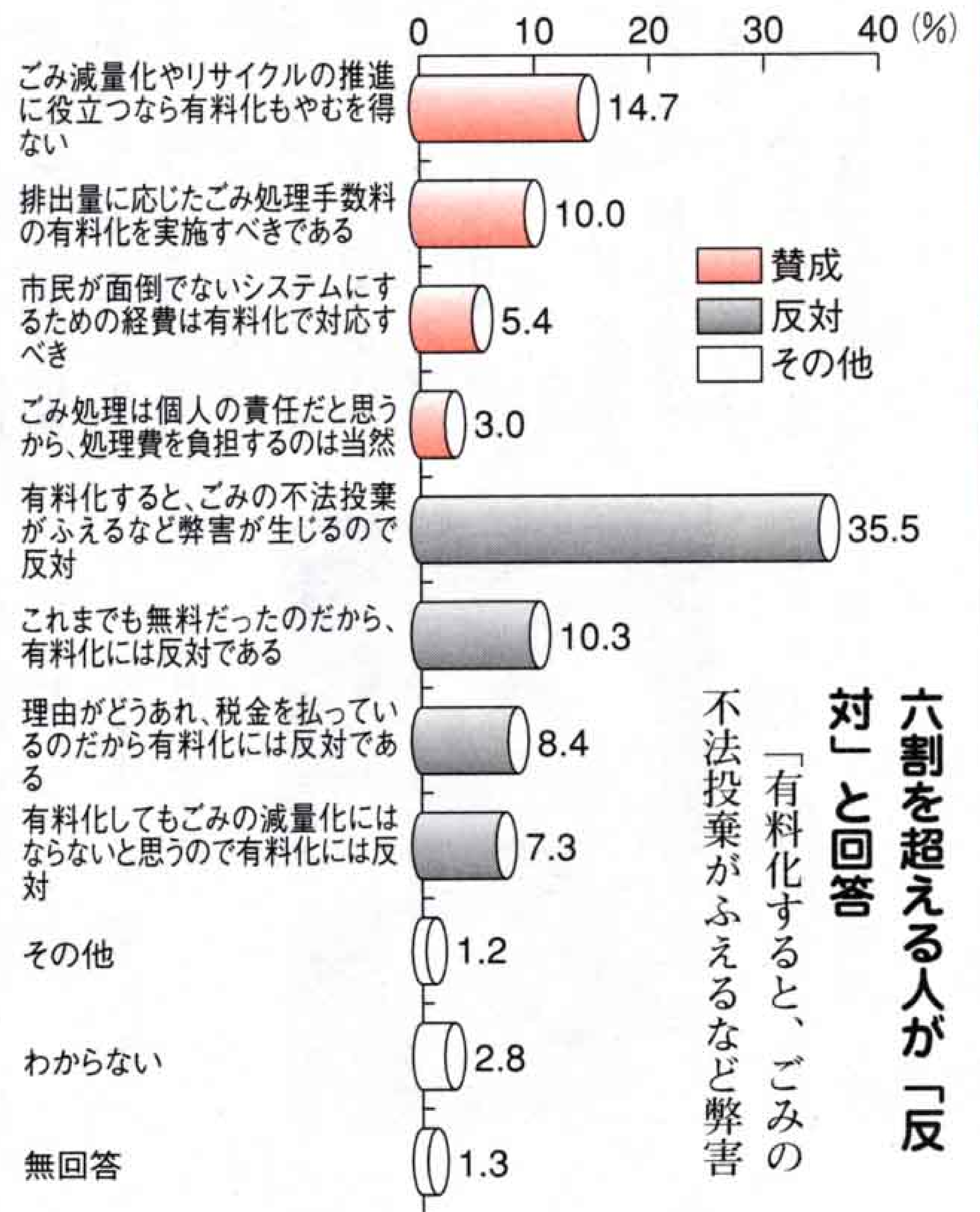


リサイクルできるものは極力リサイクルする
「法律や制度に基づきリサイクルできるものは、極力リサイクルして資源化を図る」が六一・二%で最も多く、どの年齢層においても半数を超えています。

また、七十代以上のみが「町内会、PTA、子ども会などでの資源物集団回収を促進させるため、助成制度を充実させる」が二番目に多く、その他の年齢層では「生ごみ処理機の購入費補助制度を導入して、生ごみの資源化を促進する」が二番目に多い項目になっています。

一般家庭のごみ処理の有料化について

Q 一般家庭のごみ処理を有料化している市町村があります。ごみ処理の有料化についてあなたはどのように思いますか。



六割を超える人が「反対」と回答
「有料化すると、ごみの不法投棄がふえるなど弊害が生まれる」が三三・一%、反対という人は六一・五%となっています。

「有料化すると、ごみの不法投棄がふえるなど弊害が生まれる」が三三・一%、反対という人は六一・五%となっています。これからの回答をまとめると、一般家庭のごみ処理の有料化に賛成という人は三三・一%、反対という人は六一・五%となっています。

【ポイ捨て禁止・マナーの徹底】

- ・ポイ捨てする人から罰金をとる。
- ・缶のポイ捨て防止として、回収費を上乗せして販売したらどうか。
- ・学生のごみのポイ捨てが多い。学校でも指導していくべき。

【情報提供やPR】

- ・資源に限りがあり、行き詰まることをPRしていくしかない。
- ・分別の細かい仕方をポスターなどでつくってほしい。
- ・明確な分別方法やルールなどの説明会を各地区で開催してはどうか。

【その他】

- ・現在の課題を明確にし、二十一世紀を見通した解決策を打ち出してほしい。
- ・有料化については、市民の合意のもとで行うことが重要。
- ・ごみの減量化とリサイクルの先進国へ行って、研修するのも一つの方法では。

お忙しい中、今回の調査にご協力いただきました皆さま、ありがとうございます。皆さまからいただいた貴重なご意見を、今後の市政の参考にし、まちづくりを進めていきます。

だれでもできるごみ減量化



平成12年度市政モニター
清水 節五郎さん (今 泉)

だれでも簡単にできる 生ごみのたい肥化

平成五、七年に、広見地区のまちづくり推進部の活動として、ボカシを使って生ごみをたい肥化する「家庭生ごみ減量化推進事業」に取り組みました。必要となるボカシづくりを小規模授産所「ふじひろみ」に依頼し、各町内会・組織・団体などに協力を呼びかけ、市内の全地区に先駆けて模範となるような意気込みでボカシ肥料の普及に努めました。

ボカシ肥料づくりは、経費があまりかからず、個人が日常生活の中で簡単にできるものです。そして、生ごみをたい肥化することは、ごみの減量に非常に効

果があるのです。

生ごみのたい肥化は減量効果だけではありません。できた肥料を使った土壌は、生き生きとしたよい土になり、そこでつくった野菜などはおいしいものができるんですよ。さらに、生ごみみたい肥を熟成させるときに出る液肥は、薄めて使うと消臭や殺菌効果があるのです。

ボカシ肥料は各家庭で簡単につくれますが、町内や地域ぐるみで展開すれば、より大きな成果につながると思います。そうするためにも、モデル地区を幾つかつくって、その負担を一部助成するなどしてもらって、全市的な運動に広がっていくといいですね。

※ボカシを使って、生ごみをたい肥化したもの



★平成十二年度市政モニター会議のテーマは「ごみ問題」です。

いみとなるものは断る。

生産者は循環できるものをつくる

富士市消費者運動連絡会は、市民で構成される十一の消費者団体、約一万三千人の連絡会です。私たちは新しい時代にあふさわしい「生活者」への意識の普及を進め、生活の安全と健康を守る運動、地球の資源や環境を守る運動を行っています。その活動の中で、ごみとして捨てられがちな牛乳パックを資源ごみとして回収したり、不要となった文庫本をリサイクル文庫として再利用したりしています。



また、構成団体の中には、家庭で使用した油に苛性ソーダを入れてゼリー状にした廃油石けんをつくったり、買い物には自分の買い物袋を必ず持つていく「マイバック運動」を展開している団体もあります。

私自身、毎日出るごみを減らすために、スーパードライなどの過剰包装は断るようになっています。また、靴などを買ったとき、箱に入っている靴以外のものを持ち帰らないようにするなど、ごみとなるようなものはその場で断るようになっています。

ごみ減量のために、消費者の皆さんが何らかの形で実践しようとする意識はあると思います。例えば、家庭で生ごみをたい肥化したものを回収できるようにすれば、より多くの人が実践し、ごみや環境に対する意識も深まっていくのではないのでしょうか。そして、これからはごみにならない、循環できるものをつくるなど生産者側の意識改善を考える時期に来ているのではないかと思います。



富士市消費者運動連絡会常任理事
黒川 和代さん (原 田)



高井 初美さん
(松岡)

私の家には畑があるので、母が生ごみをその畑に直接まいて畑の肥料としていました。その姿を目にしていたこともあり、今でも生ごみを燃えるごみとして出したことは、一度もありません。

最近、生ごみを直接畑にまかずに、ボカシなどと混ぜて、たい肥化してからまくようしたり、鉢植えなどの肥料として使ったりしています。ほかに、食品を電子レンジで温めるときはラップを使わず専用のふたを使うとか、ニンジンなどの皮をそのまま使って調理するなど、できるだけごみを出さないように心がけています。

生ごみは燃えるごみと
思ってません



石田 光枝さん
(横割6丁目)

以前、台所から出る一日のごみの量をはかったとき、三人暮らしの我が家から約六百グラムのごみが出されていて、その多さにびっくりしました。それ以来、毎日の食事の献立をあらかじめ決めて、余分なものは買わないように心がけるようになって、排出量が減ってきました。

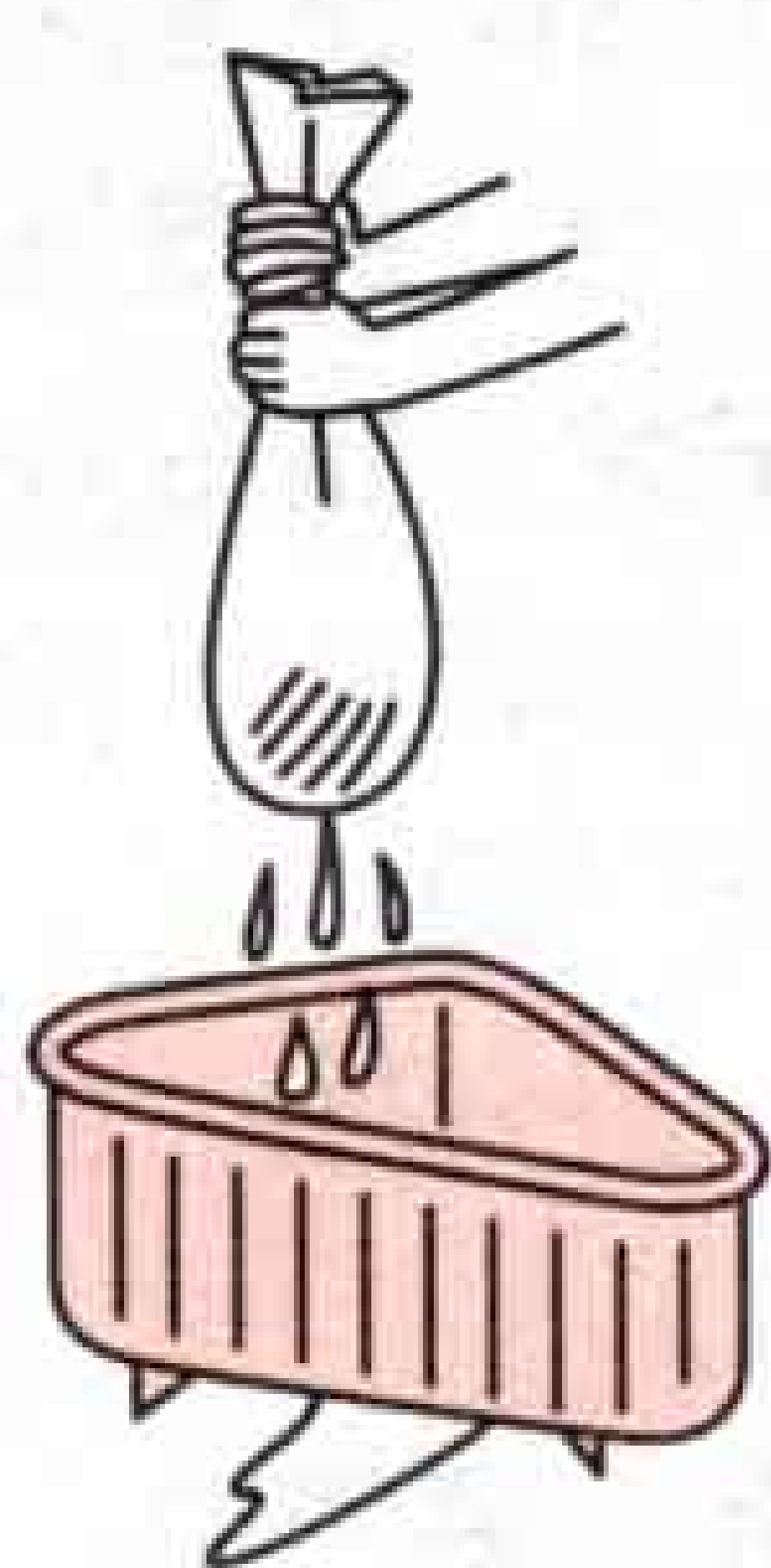
お茶くずやコーヒーのかすなどは、うがい用として使ってから、乾燥させて冷蔵庫に入れておく。消費剤の効果があるんですよ。物を使ったらすぐにごみとして捨てるのではなく、最後まで使い切り、ごみとして出さない工夫を、親から子に伝えていくことが大切だと思います。

食事の献立を決めて、
余分なものは買わない

◆ボカシを使って、生ごみをたい肥化してみよう

※ボカシ＝発酵たい肥化促進資材。

①生ごみの水をよく切る



④ふたを閉める。容器がいっぱいになるまで①～④の作業を繰り返す

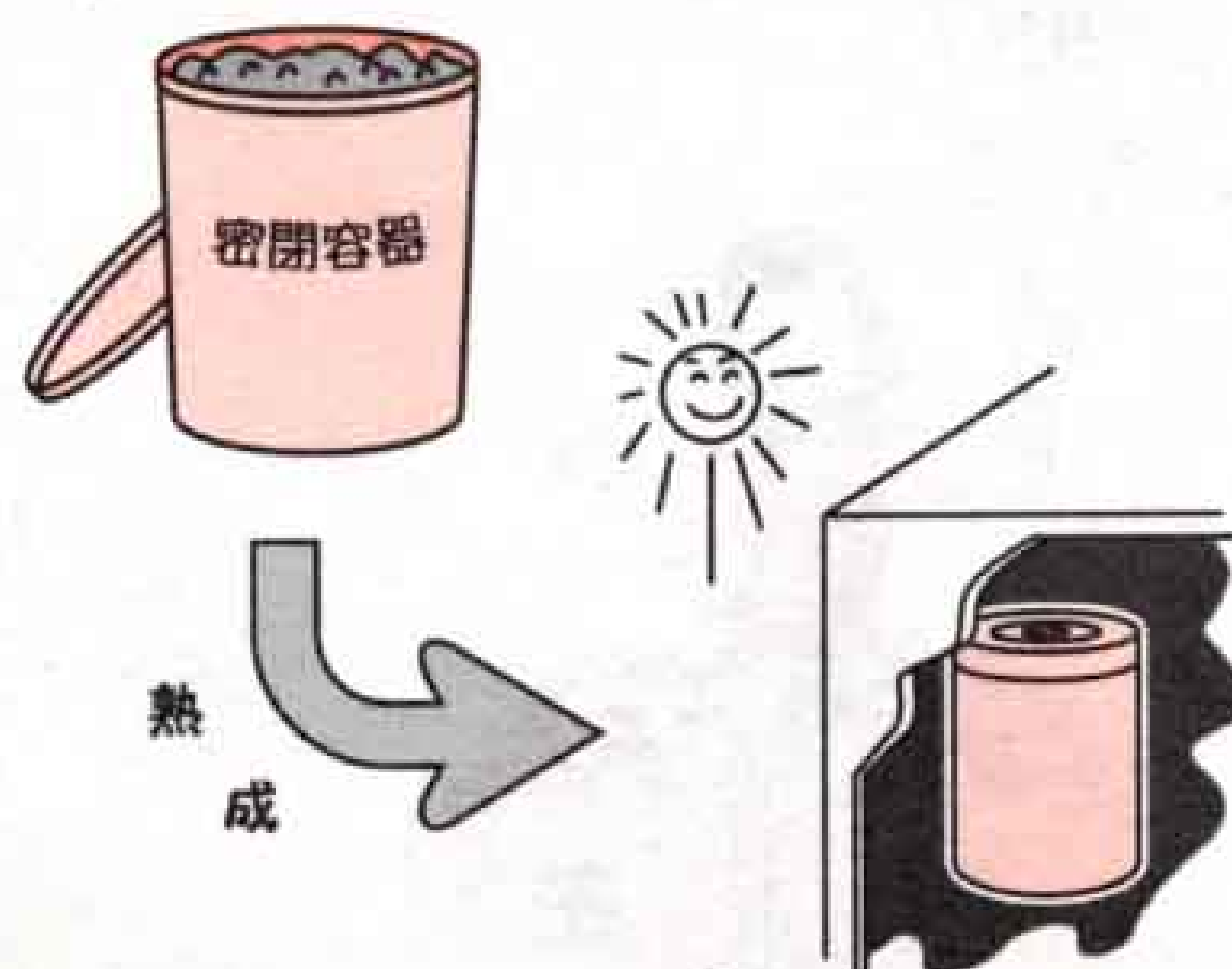


②生ごみを密閉容器に入れる



※容器内にビニール袋を入れ、その中に生ごみを入れると容器に臭いや色がつきません。

⑤7～10日間、日の当たらない涼しい場所に放置する



③ボカシを振りかける



※生ごみはなるべく平らにする。

ボカシを販売している公共施設

- 市役所売店
- 保健女性センター
- 2階消費生活センター
- 東部市民プラザ
- 鷹岡市民プラザ
- 小規模授産所「ふじひろみ」
- 小規模授産所「竹の子」
- ふれあいショップあゆみ
- 市民ふれあいバンク

※1袋300グラム100円。
※ボカシをつくるグループ・団体には、資材の提供をします。詳しくは環境衛生課へ。

ごみ問題を解決していくための第一歩

いこと

—環境クリーンセンターからのお願い—

これって燃えるごみ？それとも…

—下記を参考に、正しく分別して出してください—

燃えるごみ

- ◎ポリ製品 バケツ、灯油容器、台所洗剤容器、液体洗剤容器など
- ◎ゴム製品 長靴、自動車マットなど
- ◎皮革製品 かばん、バック、革靴、ランドセル、ベルト類
- ◎プラスチック おもちゃ、^{けんばん}鍵盤ハーモニカ、時計、電話機、釣りざお、水筒、ポット（電気ポットを除く）、レコード盤、レーザーディスク、ビデオテープ、CD、カセットテープ、クーラーボックス
- ◎ビニール製品 ビニールタン、シート、雨がっぱ、傘
- ◎その他 布団、毛布、まくら、ウレタン製品、発泡スチロール、塩化ビニール製品、草、燃え殻（簡易カイロなど）、じゅうたんやカーペット（8等分に切る）、枝・木切れ（50センチメートル以下で3束まで）



缶・金属

- ◎自転車、バイク（50cc以下）、電子レンジ、ミシン、洗濯乾燥機、トースター、ガスレンジ類、石油・電気温風ストーブ、一斗缶、4リットル缶、物干しざお、釘、アイロン、瞬間湯沸かし器、ローラーズケート、サマーベット、鉄のいす、アルミ容器、トタン板、針金ハンガー、各種工具（ペンチ、スパナーなど）、米びつ、アンテナ類、オールステンレス製流し台、アルミ網戸、ホットプレート

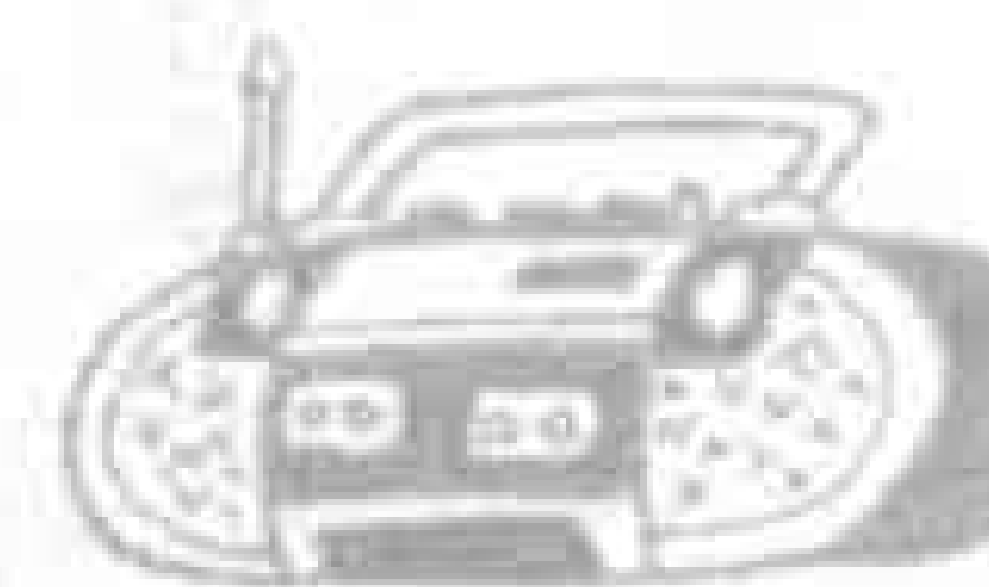
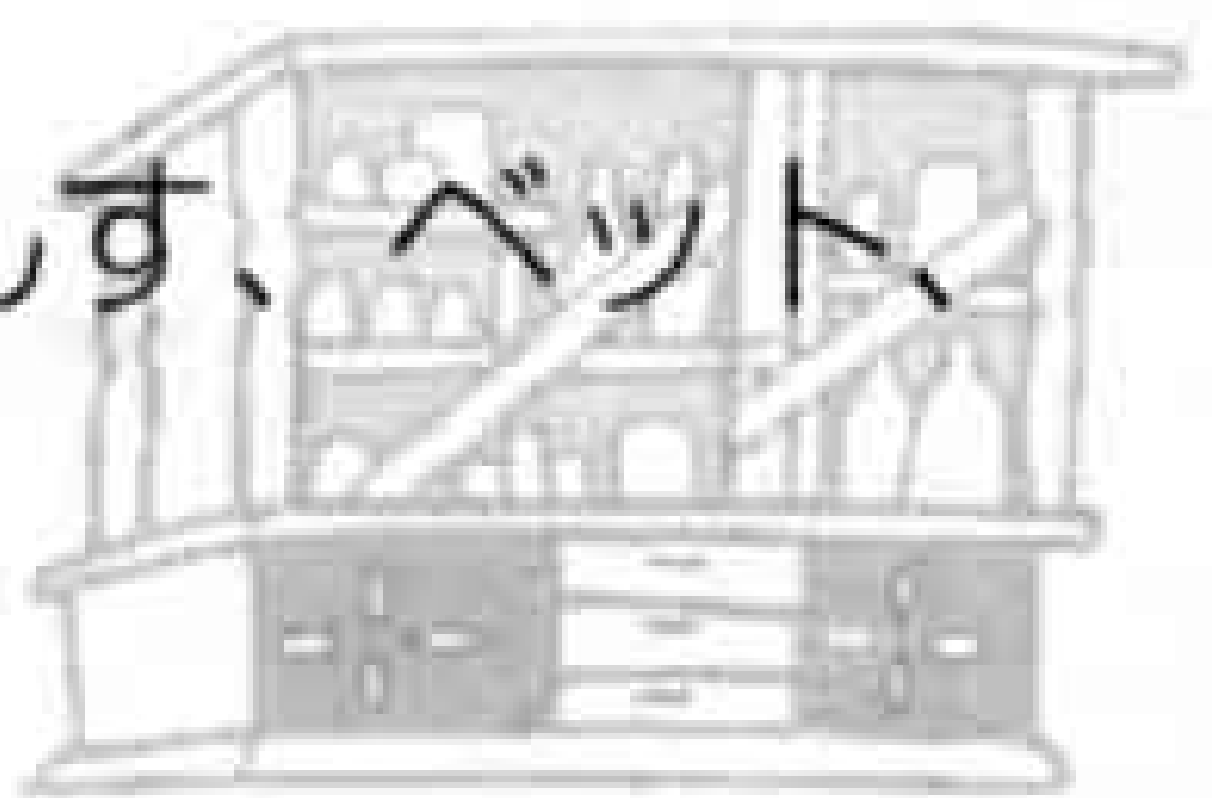


基本的な五つのルール

- ①ごみは収集日の朝八時三十分までに出してください。
- ②ごみは決められた場所に決められた方法で必ず出してください。
- ③ごみは決められたものを、決められた収集日に出してください。
- ④営業（事業系）のごみは、集積場所に絶対に出さないでください。
- ⑤ほかの町内の集積場所には、絶対に出さないでください。

埋立ごみ

- ◎マットレス ベット用マットでスプリング入りのもの
- ◎座いす類 鉄パイプ入りのもの
- ◎大型家具類 応接セット、茶だんす、たんす、ベット、本棚など
- ◎大型楽器類 オルガンなど
- ◎刃物類 包丁、かみそりの刃、カッターナイフの刃など
- ◎薫蒸剤 加熱蒸散殺虫剤（外側が金属以外のもの）
- ◎家電製品 ステレオ、ラジカセ、扇風機、電気こたつ、テレビ、ビデオ、電気炊飯器、電子ジャー、洗濯機、冷蔵庫、電気ポット、カラオケ機、ワープロ、マッサージ機、エアコン室内機・室外機、食器乾燥機、布団乾燥機
- ◎その他 板ガラス、割れ瓶、瀬戸物、鏡、花瓶、植木鉢、かわら、ガラス水槽、乳白色化粧瓶、スケート靴、スキー板、砂（ペット用）、ホットカーペット、アコーディオンカーテン、子供四輪車、タイル製品、コンクリート製物干し台、ホーロー製品、耐火金庫、蛍光管、電球類、ブロック・小石、自動車・バイク用バッテリー、ガラスコップ類、ベビーカー



教えてください。

はい、お答えします。

Q. & A.

Q. ペットボトルは、どうして集積場所で回収しないの？

A. ペットボトルは軽いため、風雨で飛散しやすいこと、また、集積場所が広くないため、これ以上分別品目をふやしていくことから、協力店での拠点回収としています。

Q. 生ごみ処理機の補助制度は？

A. 市では、生ごみのたい肥化の取り組みとして、これまでボカシの普及拡大を進めてきました。しかし、市民の皆さんからの要望も多くなっていることから、できるだけ早く補助制度を導入する方向で検討しています。

Q. 「缶の指定袋」に燃えるごみを入れて出してもいいの？

A. 缶専用の袋ですので、燃えるごみを入れて出すことはできません。余った袋は、町内会（区）長さんに戻すか、足りない人に分けてあげてください。

Q. ごみの分別が難しくわかりません。

A. 市では、週2回の燃えるごみの収集と、月1回の資源・埋立ごみの収集を行っています。分別については、「ごみの分け方・出し方カレンダー」をごらんください。細かな分別となると、難しいのが現状です。そのようなときは、自分で判断しないで、環境クリーンセンターか、環境衛生課まで電話をいただければお答えしています。また、環境衛生課のホームページに、「ごみのあいうえお」があります。「アイロン」からあいうえお順に、何の日に出したらいいのか掲載していますので、一度ごらんになってください。

環境クリーンセンター ☎35-0081

環境衛生課ページアドレス

<http://www.city.fuji.shizuoka.jp/>

cityhall/seikat-b/eisei/

皆さんに守ってほしい

★燃えるごみ

- ・透明の袋かスーパードライなどのレジ袋で出してください。袋に入らない大きなものはそのまま出してください。
- ・ごみ袋の口はしっかりと縛ってください。
- ・てんぷら油などは、布や紙にしみ込ませて、垂れないようにしてから出してください。また、ペットボトルなどの容器に直接油を入れて出すことは絶対にやめてください。
- ・引っ越しなどで多量に燃えるごみが出たときは、直接環境クリーンセンターに運んでください。

★埋立ごみ

- ・複合素材でできているものが多くあります。金属類などできるだけ取り外すようにしてください。
- ・割れ瓶、鏡、板ガラスについては新

★瓶

- ・新聞紙で包み「危険物」と書いて透明袋かレジ袋に入れて出してください。
- ・瓶は、できるだけキャップを外し中身を出して、よく洗ってからコンテナに入れてください。
- ・コンテナへ瓶を入れる場合は、八分目を目安に入れてください。
- ・缶は市の指定袋に入れて出してください。
- ・出す前によく洗い、スプレー缶は必ず穴をあけ中のガスを抜いてから出してってください。
- ・排気量五十cc以下のミニバイクをこみとして出すとき、ガソリン・オイルを抜き、バッテリーを外して出してください（バッテリーは埋立ごみ）。
- ・釘やネジなどの小さな金属は、ミル

★缶・金属

- ・缶は市の指定袋に入れて出してください。
- ・出す前によく洗い、スプレー缶は必ず穴をあけ中のガスを抜いてから出してってください。
- ・排気量五十cc以下のミニバイクをこみとして出すとき、ガソリン・オイルを抜き、バッテリーを外して出してください（バッテリーは埋立ごみ）。
- ・釘やネジなどの小さな金属は、ミル

★古紙類

- ・ク缶などに入れて出して出してください。
- ・新聞類、雑誌類、段ボール、飲料用紙パックはそれぞれにまとめ、同じ種類のものだけを縛って出してください。
- ・集積場所に出すときは、種類ごとに並べて出して出してください。
- ・新聞と雑誌をまぜたり、新聞を段ボールに入れて出したりすることはやめてください。
- ・古紙を縛るときは、できるだけ再生できる紙ひもを利用し、ガムテープでは縛らないでください。

★ペットボトル

- ・足でつぶして小さくしてから、必ずキャップを外して回収箱に出してください。



平成13年4月1日から 家電リサイクル法が始まります

家電リサイクル法(特定家庭用機器再商品化法)とは

これまで市が処分してきた、家庭からごみとして出される家電製品について、メーカーにリサイクルするよう義務づけたものです。平成十年五月に成立し、十三年四月から冷蔵庫、テレビ、洗濯機、エアコンの四製品を対象に施行されます。

市の対象四品目の排出量は、平成十年で一万四千二百七十九台(四百四十七トン)に及び、今後さらに増加が見込まれています。

家電リサイクル法の概要

市では、これら四品目を埋立ごみとして月一回収集してきました。

しかし、この法律が施行されることで、消費者である皆さんは小売業者に、小売業者は製造業者などにごみとなった家電製品を引き渡すこととなります。その際に、収集及び再商品化などに必要な料金を請求された場合には、その支払いに協力しなければなりません。

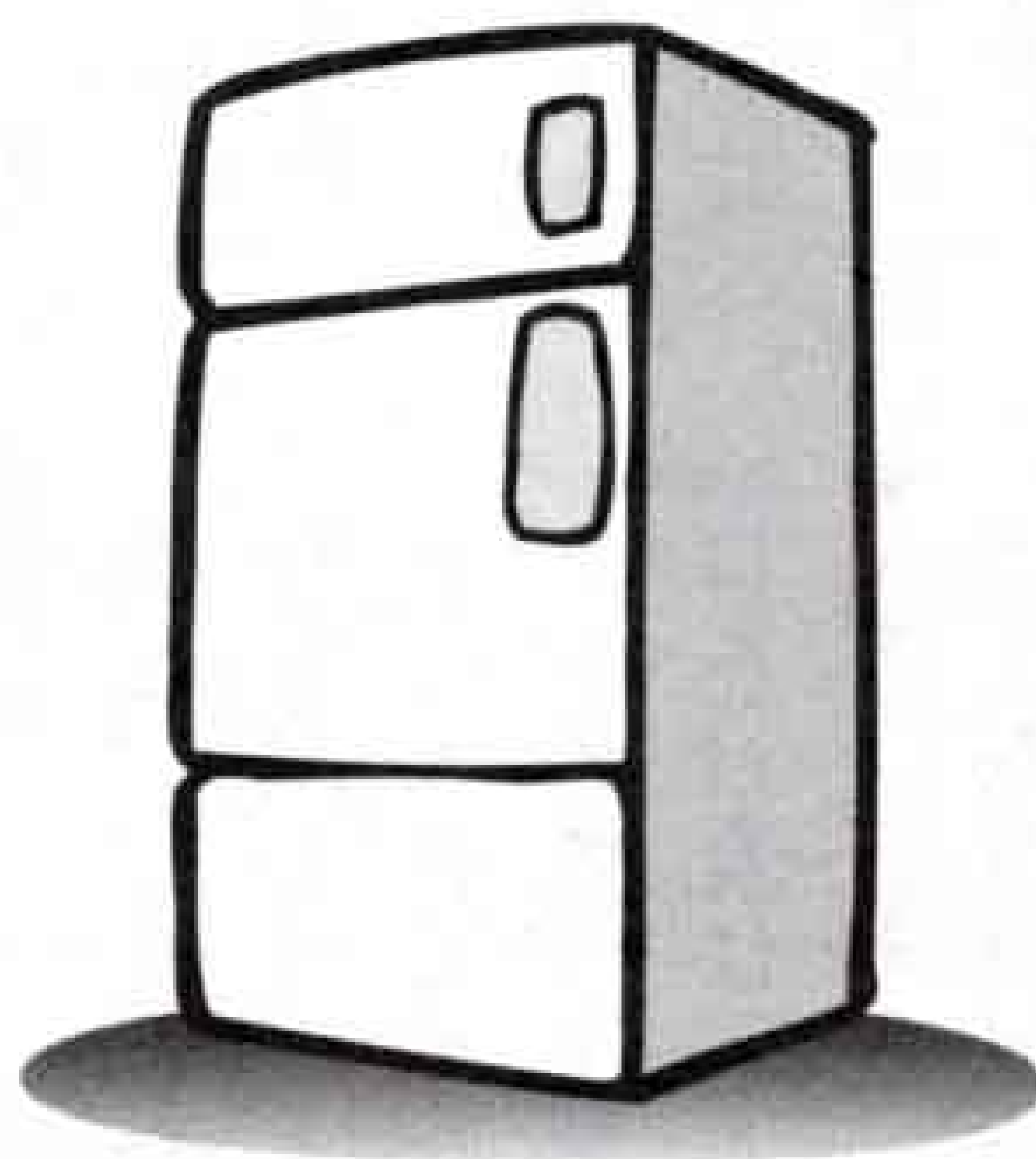
この法律の

ポイント

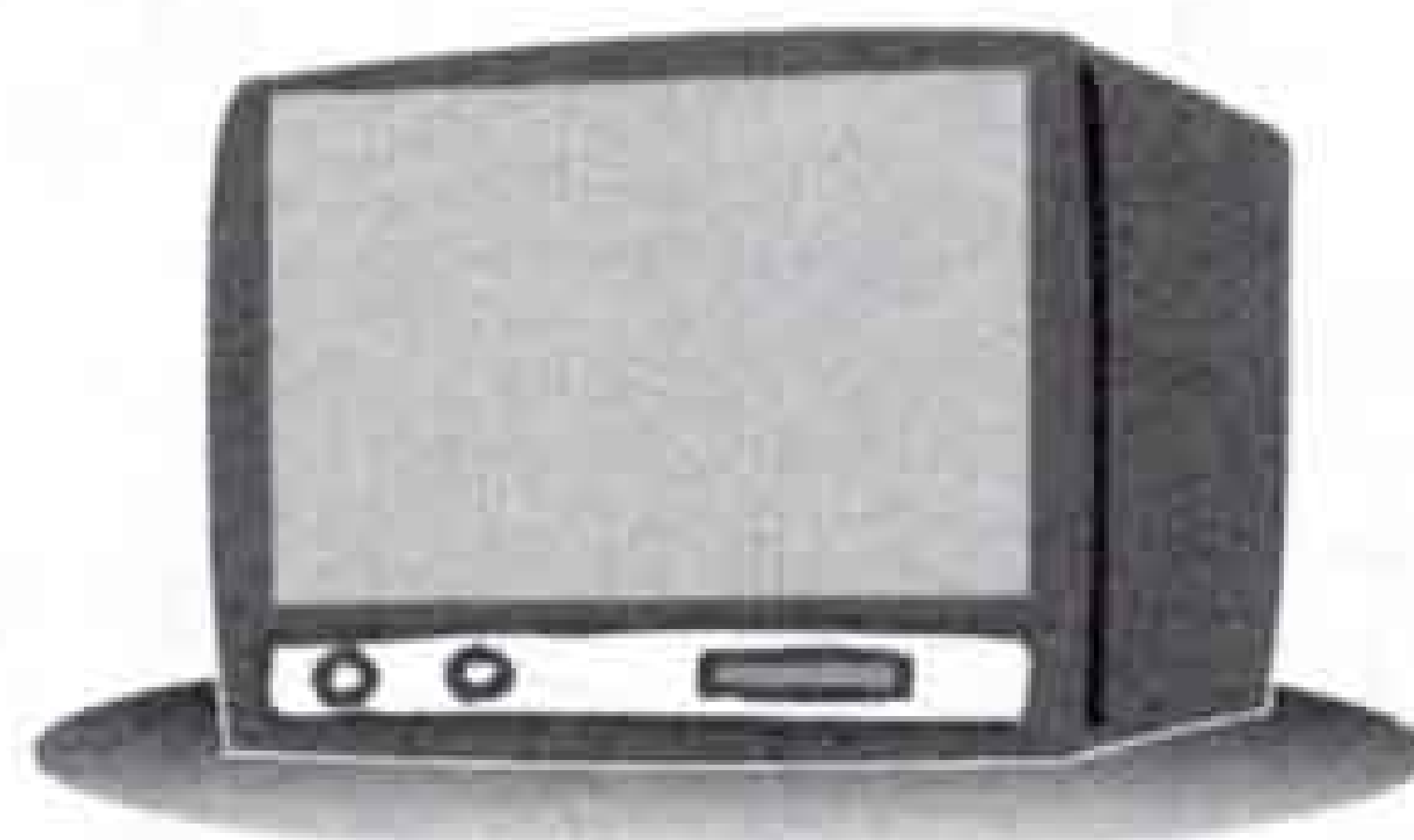
★埋立ごみの日に冷蔵庫、テレビ、洗濯機、エアコンが出せなくなる。

★再商品化のための料金を消費者が支払う。

家電リサイクル法の対象となる機器



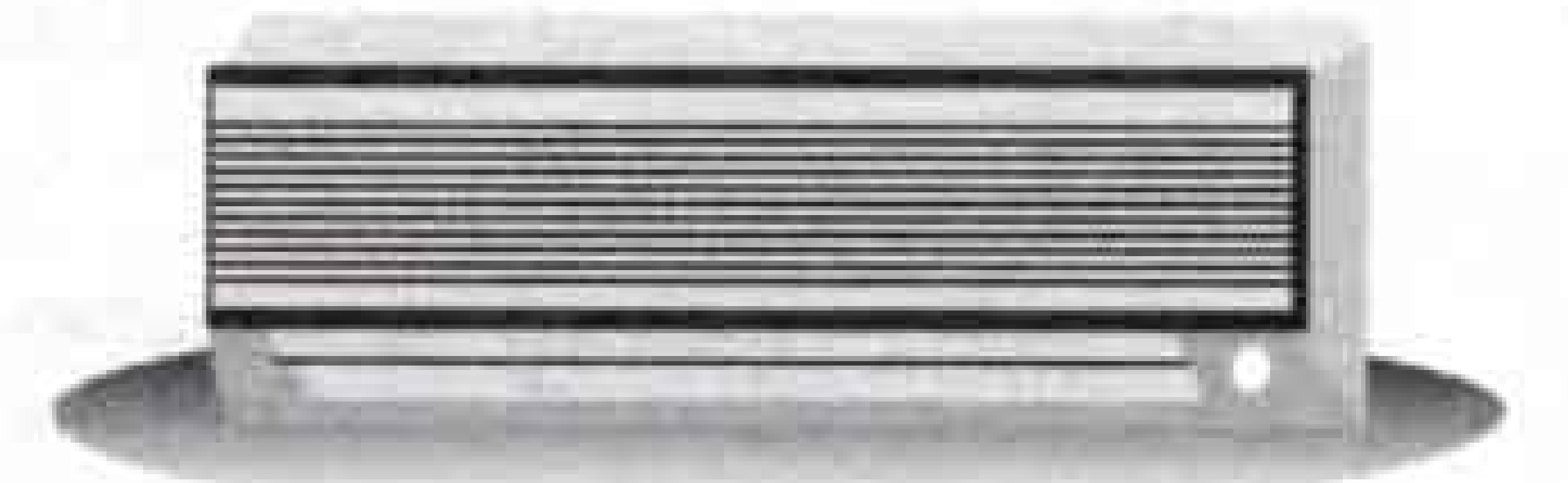
冷蔵庫



テレビ



洗濯機



エアコン

9月に、各メーカーから家電4品目の再商品化費用が発表されました

(税別 単位：円)

	冷蔵庫	テレビ	洗濯機	エアコン
松下電器産業	4,600	2,700	2,400	3,500
東芝	4,600	2,700	2,400	3,500
日立製作所	4,600	2,700	2,400	3,500
三菱電機	4,600	2,700	2,400	3,500
シャープ	4,600	2,700	2,400	3,500
三洋電機	4,600	2,700	2,400	3,500
ソニー	—	2,700	—	—

消費者、家電小売店、メーカーなどがそれぞれの役割を分担し、廃棄物の減量と資源の有効利用を図るために制定された法律です。料金の支払方法については、現在検討中です。今後詳しいことが決まり次第「広報ふじ」などでお知らせしていきます。

消費者(使った人)

- 家電小売店に引き取りを依頼
- 収集・再商品化などに関する必要な料金を支払う

家電小売店(収集・運搬する人)

- 過去に販売した機器を店頭で引き取る
- 買い替えの際、引き取りを求められた機器を引き取る

家電メーカー(再生する人)

- 家電小売店から機器を引き取る
- 過去に製造・輸入した機器をリサイクル
- 引き取り場所を設置する

原材料、部品、燃料などの熱源

家電リサイクル法のしくみ

一般・産業廃棄物 最終処分場建設に向けて

皆さんから排出されるごみの焼却灰は、市の一般廃棄物最終処分場が満杯となり、現在、民間の処分場に処理を委託している状況で、新しい処分場の建設が急務となっています。そこで処分場の確保について、従来のような個々の企業や組合などによる事業の実施方式を改め、社会的にも信頼性の高い、安定した廃棄物処理事業の推進を図るため、市内の各企業と富士市、富士商工会議所、各関係団体との共同出資のもと、平成九年十月一日、株式会社富士環境保全公社が設立されました。

現在、富士環境保全公社では建設に当たり、環境の保全と安全対策に最大限の配慮を図りながら、市内桑崎地先に埋立容量約四十三万立方メートルの一般廃棄物及び産業廃棄物の処分場建設を進めています。



一般・産業廃棄物最終処分場
建設予定地：桑崎地先

市のごみ処理状況は極めて差し迫った事態です。 ごみ減量化にぜひご協力を

市はごみ減量化対策として、缶・瓶・金属類の分別収集に始まり、さまざまな施策を行っています。しかし、ごみ排出量は年々増加傾向にあり、歯どめがかからないのが現状です。そのため、ごみ処理や処分については、極めて差し迫った事態となっています。このままの状態が続くと、焼却処理施設は予想を上回るごみの排出量に対応できなくなり、市民の皆さんの負担増加は避けられなくなります。市民の皆さんには、不要なものをできる限り買わないようにしたり、生ごみをたい肥化したりするなど、ごみの減量化にぜひご協力をお願いします。市でも、家庭用生ごみ処理機の助成制度の導入を検討していきます。また、集積場所に出す前にそのごみを集める人・処理する人の気持ちになって正しい出し方を心がけていただきたいと思います。

市では今後のごみ処理行政のあり方を明確にしておくため、最終目標年度を平成二十六年とした「富士市ごみ処理基本計画（フジスマートプラン21）」を策定し、ごみの発生抑制、減量化、リサイクル、分別の徹底を掲げた資源循環型社会の実現を目指していきます。

この計画は、市が抱えているさまざまな課題を把握・整理するとともに、富士市独自の目標を設定し、皆さんの意向を尊重した住民参加型の計画としていきます。行政だけではごみ処理問題は解決できません。市民の皆さんと事業者と行政が一体となって適切で効果的な施策が展開できるように、ご理解とご協力をお願いします。



環境衛生課
渡邊 和三郎 課長

この計画は、市が抱えているさまざまな課題を把握・整理するとともに、富士市独自の目標を設定し、皆さんの意向を尊重した住民参加型の計画としていきます。行政だけではごみ処理問題は解決できません。市民の皆さんと事業者と行政が一体となって適切で効果的な施策が展開できるように、ご理解とご協力をお願いします。

市のごみ減量化施策

●生ごみたい肥化推進運動

花の会など登録した団体に対し、EM菌や糖蜜、容器を提供して、生ごみのたい肥化を進めています。

申し込みは、環境衛生課へ。

●ペットボトルの拠点回収

スーパーや大型店舗などの協力を得て、市内54か所に「ペットボトル回収ボックス」を設置しています。

●集団回収活動助成制度

繊維類を集団で回収活動を行う団体に、1キログラムにつき10円の報奨金を支払う補助制度を実施しています。

申し込みは、環境衛生課へ。

●せん定枝資源化モデル事業

せん定枝をチップ化し、たい肥の原料などに利用するモデル事業に取り組んでいます。

このままごみがふえ続けたら、街はごみに埋もれてしまいます。そうならないためには、ごみの減量化が必要です。

ごみの減量化には、「ごみを出さない」「ごみとなるものは買わない」など、ごみを減らすための意識改革と自助努力が、私たち一人一人に求められます。

私たちの暮らすこの富士市が「より住みやすい街」になるよう、みんなが協力しながら、ごみの減量に取り組んでいきましょう。

問い合わせ

環境衛生課

☎五一一〇二二三 内線二〇五一

環境クリーンセンター

☎三五五〇〇八一